

令和4年度 慶應義塾大学日吉寄宿舍 入舎案内



誕生日会にて

目次

舎監より

OB より

生活

イベント

仕事

人間関係

FAQ

入舎を希望する諸君へ

舎監 法学部教授 大出 敦

みなさん、入学おめでとうございます。日本に数ある大学のなかから慶應義塾大学を選んでくれたことをうれしく思います。慶應義塾は、いうまでもなく、日本最古の私学ですが、1年生のみなさんが、これから学ぶ日吉キャンパスは、1934（昭和9）年に開設されたものです。寄宿舍は、日吉キャンパス開設から3年後に完成しています。寄宿舍は、まさに日吉キャンパスの歴史とともに歩んできたのであり、そして開舎当時から、義塾の教育の中核に位置する施設ともいえるべきものでした。そのことは、当時、最新式の暖房施設や、東洋一といわれた展望風呂などを義塾が設置したことをみれば分かることです。また同時に義塾が、寄宿舍にどれほどの期待を込めていたかも分かるでしょう。そしてその期待は、現在まで連綿と続いています。そう、ここは慶應義塾の精神を可視化した場なのです。

義塾には、「半学半教」という言葉が受け継がれています。教える者と学ぶ者を師弟という形で捉えるのではなく、先に学んだ者が後から学ぼうとする者を教えるだけであって、教員も学生も、ともに半ば学び、半ば教えるという義塾草創期からの理念です。相互に刺激し合い、助け合いながら、共に高まっていくという考えです。これが、国公立の大学や他の私学にない、「学塾」という独特の雰囲気を生み出しています。寄宿舍での生活にも、この精神が生かされています。みなさんは、これからこの寄宿舍で、舎友とともに学び、そして教え合って学生生活を送ることになります。

また、慶應義塾の義塾という語は、英語の **public school** の漢訳といわれています。福澤先生は、身分に関係なく志ある者が自由に学べる場を英国の **public school** に見出し、慶應義塾に取り入れたといわれています。と同時、これもよくいわれていることですが、義塾の「義」には、相互扶助の意味があり、ともに支え合っていく学塾であることを表しています。寄宿舍は、現在、三人で一部屋を使用していますが、そこはそれだけで小さな社会であり、相互に助け合うことで、協調的な世界が生み出されていきます。寄宿舍の生活空間は、そうした意味で、義塾の理念を反映したミクロ・コスモスといってよいかもしれません。

「半学半教」にしても「義塾」という名称にしても、そこには、若き福澤先生が、大阪の緒方洪庵の適塾で、多くの学友と寝食を共にして、互いに切磋琢磨してきた体験が反映されています。寄宿舍は、そうした福澤先生の理念が今でも息づいている場所です。

さて、みなさんは、これから大学生活が始まります。福澤先生が好んだ言葉に「愈究而愈遠(いよいよきわめていよいよ遠し)」というものがあります。学問は究めれば究めるほど、奥深いということですが、それは学問の楽しさでもあり、そのことをこの寄宿舍での生活で体験して下さい。みなさんの寄宿舍での生活が、福澤先生が適塾で過ごした青春時代のように、稔り多いものになることを祈っています。

日吉寄宿舍の乗客となる君へ

2018 年卒寮

村瀬駿太郎

入舎案内を書くにあたり、日吉寄宿舍の面接を受けようと、初めて一人で上京した時のことを思いやった。故郷の山口県から新幹線に乗り、幾ばくの不安を抱きながら、まだ見ぬ土地を目指す。車窓には、移りゆく景色が鮮やかだった。

〈本の葉少し動かし旅終わる〉。近江砂人の句を思い出す。海沿いに広がる石油コンビナートを横目に、美濃の雪景色を過ぎ去る。眼前にそびえる富士山に無心にシャッターを押した。時速 200 キロで疾走する鉄道の中で、私は面接の想定問答を考えるのを後にして、代わる代わる映し出されるその景色に釘付けになっていた。

『奥の細道』（松尾芭蕉）の書き出しは、「月日は百代の過客にして」という。受験生にはおなじみだろう。時の流れは永遠に移ろう旅人のようで、ひとたび去っては帰らない。芭蕉は長旅のさなか、その一瞬一瞬を噛みしめるように句を詠んだ。

「日吉寄宿舍」の列車に乗って見てきた景色をいま振り返る。毎日を共に過ごした寮生の表情が浮かぶ。真剣に議論した。くだらない遊びで大笑いした。みんなで鍋を囲んだ。誕生日を祝った。その瞬間の景色が、目に焼きついて離れない。景色の中にはいつも「人」があったと気づく。

君の車窓は、どんな景色で彩られるのだろうか。うっそうと木々が茂る静かな森か、白波が岸壁に打ちつける荒れた海原か。「日吉寄宿舍」の列車は自由に道を進む。寝食を共にする乗客は個性豊かでたくましい。君をどんな所へでも連れていってくれるだろう。目的地のない旅だ。想像するだけでわくわくする。

出発の時刻は迫っている。高らかに鳴り響く汽笛が、特別な旅の始まりを告げた。今まで目にしたことがない、色とりどりの絶景に胸を膨らませながら。さあ、列車に乗り込もう。

生活

寄宿舍には様々な人間が思い思いの学生生活を送り楽しんでいきます。学業に勤しむもの、サークルやバイトに没頭しているもの、課外活動に熱心に取り組むもの。本当に様々な人がいます。

そんな多様性に満ちた環境で、学生寮、とりわけ学生間の交流が盛んな寄宿舍では、様々なバックグラウンドを持つ人と関わることができ、多くの刺激を受けることができます。一生付き合っていく最高の友達ができることはもちろんのこと、今まで接点がなかったような人とも交流することになり、たくさんの気付きや学びがあると思います。このような様々な個性と触れ合える点が寄宿舍生活の良さであり、一人暮らしでは味わえない経験だと思えます。

理工学部 3 年 R.A (長野県出身)

設備について

日吉寄宿舍の設備は、とても充実しています。各部屋にはテレビ、冷蔵庫、空調機器、机、ベッド、クローゼットがあります。もしかすると昨年の住人が要らなくなったお下がりのグッズをプレゼントしてもらえらるかもしれません。廊下には個人の物置スペースも確保されています。お風呂は多くのシャワーが用意されており、週に 3 日お湯に浸かることもできます。コイン式の洗濯機、乾燥機もあります。

また、パソコン室、自習室、食堂、テレビ室など部屋以外にも共同利用可能なスペースが多く存在します。パソコン室で授業の資料を印刷したり、課題をこなしたり、秩序を守りつつ自由に利用しています。全部屋、施設に WI-FI 完備です。WI-FI トラブルに迅速に対応するプロフェッショナルも常駐しております。

寄宿舍において施設面での心配はございません。

文学部 2 年 T.Y (熊本県出身)

生活費について

日吉寄宿舍では自治寮だからこそ実現できる毎月約 3 万円という破格の値段で住むことができます。(平日の朝食・夕食、水道代、電気代、Wi-Fi、その他諸経費込み)休日の食事代や趣味、サークル活動など、出費の絶えない大学生からしたらその恩恵は非常に大きいと思います。日吉で一人暮らしを考えたら、部屋だけでも 6 万円以上はかかると思えますので、日吉寄宿舍の破格さを実感して頂けると思います。

薬学部 2 年 G.K (大阪府出身)

アルバイトについて

みなさん大学に入ったらどんな生活を想像しますか。大学生になったら高校生の頃と比べ物にならないほど自由な時間が増えます。その時間を利用してサークル、旅行、ショッピング、資格試験など、人それぞれやりたいことがあるでしょう。ただ、どんなことをするにしてもやはり必要になってくるのがお金。だからこそ、大学生になったらアルバイトをしてみたいと考えている人が多いでしょう。そんなみなさんに朗報です。寄宿舍に入っている人たちは、皆、勉強、アルバイト、趣味などしっかりと両立させています。寄宿舍に入ることによってアルバイトができなくなるということはありませんので安心してください。

寄宿舍にはアルバイトに関して大きなメリットがあります。その一つが寮で代々受け継いでいる寮生バイトというものです。寮生バイトというものは寮に対して依頼されるアルバイトのことで、寮に属している人が限定で行うことができるアルバイトのことです。そういったアルバイトは知り合いが多く、初めてアルバイトをする人でも、取り掛かりやすいものとなっているのでお勧めです。また、寮の上級生からアルバイトの紹介をしてもらうなど寄宿舍ならではの人間関係がこんな場面でも生かすことができるんですよ。

みなさんも大学生になったら、お金という観点だけでなく、様々な経験をするという意味でもぜひアルバイトをしてみたらどうでしょうか。

理工学部 3年 S.T (京都府出身)

寮食について

授業のある平日の朝と晩に、寮食が提供されています。朝は 7 時 30 分から 8 時 15 分の間で、管理人が和食、中華、洋食色んなメニューを作って下さっています。晩は 17 時から 22 時 30 分までの間で都合の良い時間に食べることになっていて、大学生協から日替わりのメニューを提供してもらっています。一人暮らしではついつい偏ってしまいがちな食生活ですが、私達はおいしい寮食のおかげで、毎日健康に暮らせています。

商学部 2年 K.B (北海道出身)

資格試験について

日吉寄宿舍には、毎年様々な出身の新入生が入舎し、目標は違えども皆目標に向かって日々勉強に励んでいます。資格試験の尽力している舎生も少なくありません。寄宿舍には司法試験、TOEFL、TOEIC、簿記、公認会計士、中小企業診断士、証券アナリストなど、多種多様の資格を志している者がいるのです。また、キャンパスの図書館に距離が近いだけでなく、寄宿舍内にも 24 時間利用可能な自習室が完備されており、小説や新書だけでなく参考書も豊富に並べられています。これらを自由に利用できるということは明らかに他の塾生にはないアドバンテージです。資格試験合格を目指しているのであればぜひこの日吉寄宿舍に入り、ともに奮励努力していきましょう。

経済学部 3 年 R.I (愛知県出身)

寮の誘惑について

寮には多くの誘惑があります。寮には常に人がいることが要因です。いつでも会って話することができます。その他にも、上級生の方々からのお誘いがあったり、お風呂で長い時間語り合ったり、共通の趣味で学年を超えて盛り上がったり、寮の様々なイベントで楽しんだり、数え上げることのできない程寄宿舍には独特の誘惑があります。今述べたのは「寮の誘惑」でもあり「寮の楽しみ」でもあります。「誘惑」というとなんだか負のイメージが出てしましますが、これらは日吉寄宿舍でしか体験できない寮の楽しい出来事でもあります。そのため私は、普段の寮生活では「寮の楽しみ」を存分に満喫しつつ、テスト期間やサークルなどの自分にとって大事な時間は「寮の誘惑」に負けないように集中する、といったメリハリをつけています。このように、寮には多種多様な誘惑があるからこそ、自分の中で多様なセルフマネジメント機構が確立され、却って一人暮らしよりも自己管理ができるようになると私は感じています。

理工学部 2 年 T.K(兵庫県出身)

イベント

寄宿舎には様々なイベントがあります。それらはどれも一風変わった、寄宿舎生活を彩るものばかりです。これらは全て私達自身が企画し、開催するものです。ここではその一部を紹介します。寄宿舎の雰囲気を少しでも感じていただければ幸いです。

4月

入舎式: 新入生が寮に入って初めての行事。新たな生活への意気込みを語ってもらいます。
新歓旅行: 生活がちょっと安定した4月中旬の隙を突いて、1泊2日の新入生歓迎旅行へ行き芸をしたり騒いだりします。

5月

ダンスパーティー: 1年生がちょっと甘酸っぱい思い出ができること間違いなし。
慶早ハイク: 大学野球伝統慶早戦の前夜、寄宿舎から神宮球場までの20kmを仮装して歩く。

6月

寮内運動会: 年に一度の大運動会。学年が入り乱れ、サッカーやソフトボールで優勝を争う。

7,8,9月

ほぼ夏休み: 授業ナシ! サークル、バイト、帰省、旅行、なんでもやりたい放題の夢期間。

9月

秋の行事: 毎年何をするかアンケートを基に決定します。近年では奥多摩や鎌倉方面でのキャンプ等。

10月

秋の慶春ハイク: 春だけではないですよ。もう一度仮装して歩きます。帰りにも歩いて帰るという猛者による裏ハイクもあつたりなかったり...

12月

カクテルパーティー: 4年生のためにパーティーを開きます。4年生以外も参加できます。
仏教徒の会: 12月24日、イルミネーションに関わりのない男たちだけで行われる最も崇高な行事。

越年会: 読んで字の如く。寮生とともに年を越すのもアリ!? 強制参加ではないのでご安心を。

1月

成人式: 成人する寮生を寮で祝う会。

2月

追出しコンパ: 卒業する4年生を送り出す。1年を通して最も感動的な行事。

スキー旅行: 男だけでスキーを楽しむ。これが終わると成績開示が...

イベントについて

日吉寄宿舍には、1年を通してイベントが盛り沢山です。寮内運動会、秋のキャンプ、成人式、追い出しコンパなどがあり、忘れられない思い出になること間違いなしです。これらのイベントを通じて舎生同士の絆を一気に深めることができたりします。また、慶早戦の際に仮装しながら神宮球場まで歩く慶早ハイク、大食い企画、ワールドカップ観戦など、舎生が独自に考案した行事も活発に行われています。このように、日吉寄宿舍では自分のやりたいイベントに周りを巻き込み、その後の寄宿舍の歴史に残り続けるようなイベントを生み出すことができるかもしれません。ぜひ、一緒に盛り上がることができる人、おもしろいイベントを企画してくれる人をお待ちしております。

経済学部 1年 R.T (栃木県出身)

誕生会について

時計の針が午前0時を指すと...同期、上級生、下級生を含めたくさんの方が部屋に入り込んでくる。驚くと同時に部屋の電気が消され、バースデーソングと共にろうそくのついたケーキが運び込まれる。そしてプレゼントタイム。その年々によって変わるが、個人個人で渡されたり、同期全員からまとめて1つのプレゼントを渡されたりと学年の色が出てくる。プレゼントタイムが終わり、ケーキを食べ今年の抱負を言ったりとある程度喋ったら終わると思いきや...

後から振り返るとあの時はまだまだ始まりに過ぎなかったと思うだろう。

この先が知りたい方は是非日吉寄宿舍へ。

経済学部 3年 K.S(埼玉県出身)

OB・寮和会について

日吉寄宿舍では寮和会という、寮のOB組織があります。現在では年に2回、OBの先輩方との交流会や講演会が開催されています。昨年度は、コロナ禍により、オンラインで開催されました。様々な方面で活躍されているOBの先輩方のお話は刺激的で、有意義な機会となっています。さらに、寮和会の方々が設立してくださった大規模な基金からは、寄宿舍の設備やイベントに出資をいただいております。また、舎生の活動に対しての支援もしていただくなど、感謝に堪えません。コロナ禍では、様々な物資をご支援いただきました。あなたも、80年以上の歴史を誇る日吉寄宿舍で、寮和会の方々と交流を深めてみませんか。

経済学部 3年 K.S(埼玉県出身)

新歓期間について

新入生歓迎期間、通称「新歓期間」とは、晴れて寄宿舎に入舎した新入生に向けて、これからの寮での生活に必要な知識、ルールを覚えてもらい、また上級生と顔合わせをしてもらうための期間です。多くの新入生にとっては人生で初めての寮生活でしょうから、初めの方は寮独特のルール、文化、生活様式に戸惑うだろうと思います。入舎当時の私もその一人で、予想していた以上に覚えなければならないことが多く、新歓期間のうちは楽しいことよりも辛いことの方が多かったです。ここまで読んでくださった方は、厳しそうだな、なんか面倒くさそうだなと思ったかもしれません。しかし、この新歓期間は、あくまで新入生の皆さんが少しでも早く寄宿舎での生活に慣れてもらうためのものです。新しい生活には困難がつきものです。私たちはその困難を少しでも減らせるように全力でサポートをしていきます。また、寮の新歓期間のせいでサークルの新歓に全然行けない、なんてことはないので安心してください。共同生活において、共通のルールを覚えるというのは欠かせないことなので、新入生にとってはちょっと大変かもしれませんが、新歓期間は上級生や同期と仲良くなるいいチャンスでもあるので、むしろ楽しんでやる、くらいの心持でいてください。期待と希望に溢れた新入生に会えることを楽しみにしています。

文学部 4年 R.T(栃木県出身)

新入生歓迎期間(新歓期間)は、4月の初めから約2週間、新一年生が日吉寄宿舎で生活する上で必要なルールや礼儀を学ぶと同時に、他の新一年生(同期)や上級生と交流し、仲を深める期間です。

寄宿舎には毎年寄宿舎全体で話し合って改訂されている、共同生活するために守るべきルールや上級生と接するときの礼儀というものがあります。いくつもあるルールや慣れない礼儀を覚えるのはとても大変なことです。またやることも多いため、この期間は寄宿舎生活で最もハードな二週間になるでしょう。ですが、心配はいりません。指導学年を務める新二年生は、新歓期間のために新一年生以上に時間をかけ、準備をしてきてくれています。新一年生が感じる負担が最小限となるよう、全力でサポートしてくれるでしょう。

また、新歓期間は大変なことばかりではありません。新歓期間中は、同期(新一年生)だけで過ごす時間や、上級生一人一人と一対一で話をする場が何度も設けられます。これによって同期や上級生との仲は急速に深まり、新歓期間の記憶は舎生(寮生)全員で濃く共有された良い思い出となるでしょう。

この文章を読んだあなたとともに暮らせることを楽しみにしています！

理工学部 2年 R.S(福岡県出身)

舎内団体について

寄宿舍宿舎には「〇〇寮会」と呼ばれる団体がいくつかあります。例えば、僕が所属している「熱烈中華食寮会」では、日高屋が好きな人たちが集まっています。美味しい餃子を食べながら、舎生と語り合うのは僕にとって忘れられない経験だったのです。他にも、海水浴に出かける「レジャー寮会」、競馬を楽しむ「馬寮会」などがあります。

「〇〇寮会」を通して、普段あまり交流の少なかった舎生と仲良くすることができます。それはまさに、寄宿舍の濃密な人間関係を体現していると言えます。

法学部政治学科 3年 R.H (中国出身)

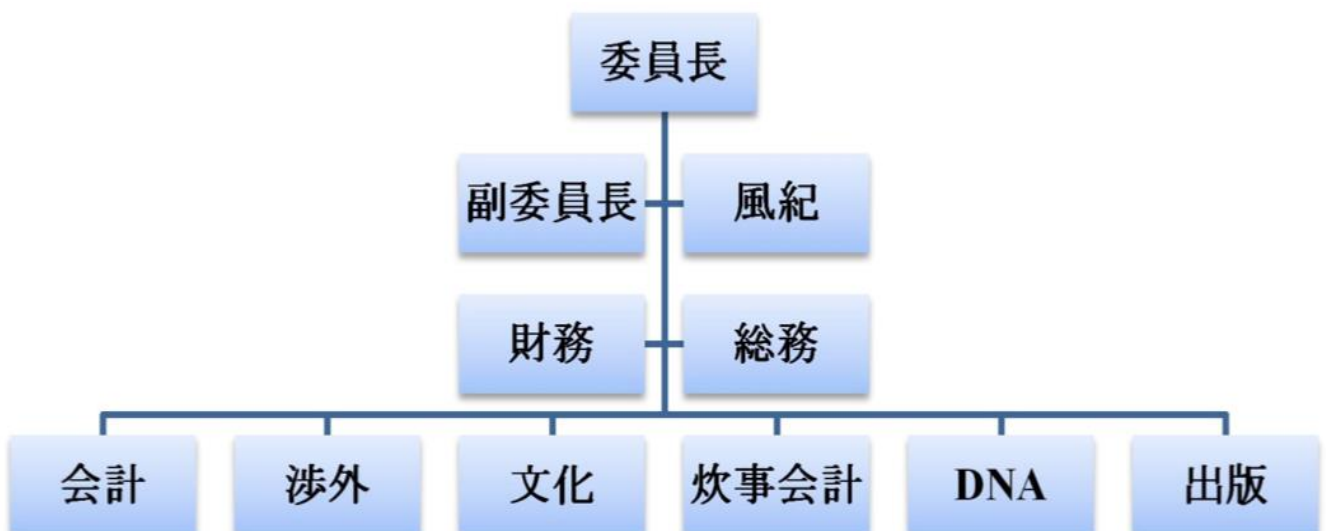
仕事

寄宿舍では、生活における全ての取り決めを自分たちで決定し、遵守するシステムを採用しています。例えば、寄宿舍内の規定の策定、大学側との寄宿舍運営費の折衝、よりよい生活環境を得るための話し合いといったことから、舎生の集金、コピー機の管理、トイレトーパーの補充といった小さなことまで、舎生の仕事としてそれぞれが責任を持って取り組んでいます。

このような大小様々な仕事を効率よく行うため、私達は委員会を組織し、寄宿舍内外における様々な仕事を取り扱います。舎生は委員会に所属し、毎月一回の会議に参加する義務を負います。会議ではそれぞれの仕事の進行状況や問題点についての協議がなされます。

1年生と2年生は主に補佐的な仕事を負い、3年生が寄宿舍運営の中心的な役割を果たします。何やら堅い話になってしまいましたが、これらは寄宿舍という団体生活を営んでいく上でなくてはならないものです。

商学部3年 R.K (栃木県出身)



委員会について

委員会は寄宿舍における主な自治活動の一つで、寄宿舍をどう改善していくか、どのような方向に持っていくかを議論します。寄宿舍では、1年生から4年生の初めまで、何かしらの役職に就きます。1、2年で就く役職のことを下六役(文化、渉外、出版広報、DNA、会計、炊事会計)、3年生になってから就く役職を五役(委員長、副委員長、風紀、財務、総務)とそれぞれ呼ぶのですが、その役職間における議論が、委員会における活動の中心となります。現在は毎月の第一月曜日に基本的に集まり、議論を通じて、寄宿舍をより住みやすい環境にしていくよう促すことができます。これは、サークルや体育会などにはあまり見られないような独自の活動であり、今後の人生において、大きな経験になると個人的に思います。

商学部1年 T.M (兵庫県出身)

室僕ワークについて

部屋での立場は、室長、副室長、室僕の三種類あります。新入生の皆さんは最初に室僕として部屋に引っ越すこととなります。その中で、室僕の仕事として、室僕ワークというものがあります。仕事の内容としては、部屋の掃除、ゴミ捨てなど、皆さんが生活する上で必ず行うことなので、大きい負担にはなりません。

この室僕ワークをしっかりと行うことで、快適な部屋を作れるほか、同部屋の上級生との信頼関係を築くこともできるでしょう。

法学部政治学科1年 T.T (宮城県出身)

人間関係

日吉寄宿舍はアパートやマンションとは異なる場です。育ちも価値観も違う人間と一緒に暮らすわけですから、一人暮らしのように「とにかく自由」という生活はできないかもしれません。しかし、時を経るごとに仲間と一緒に住むことの価値がわかってきます。「同じ釜の飯を食う」仲間、「夜通し語り合った」仲間と過ごした大学生活は絶対に貴重な財産になりますし、将来の糧になります。寄宿舍の財産は人間関係といっても過言ではないでしょう。このような貴重な人間関係を是非、我々と一緒に構築しませんか？

理工学部 3 年 H.Y (千葉県出身)

寮の人間関係について

日吉寄宿舍が他の寮と異なる点の一つとして、「上下関係」が明確に存在するということが挙げられる。

さて、「上下関係」と聞いて皆さんどう思われるだろうか。堅苦しいと思われるかもしれない。嫌厭する人もいるかもしれない。そう考えた人、ちょっと待ってほしい。お気づきの方もいらっしゃるかもしれないが、ここまでの上下関係はすべて「」付きで書かれている。つまり、日吉寄宿舍的上下関係なのである。「上下関係」によって作られる新たな関係性があり、それによって自治が回ったり、人間関係が構築されたりする。

先輩、家族、上司、兄弟、恋人など、今まで体験してきたどの関係性とも違う「上下関係」を是非ご自身の肌で感じてほしい。

経済学部 1 年 T.M(愛知県出身)

上下関係について

日吉寄宿舍が他の寮と異なる点の一つとして、「上下関係」が明確に存在するということが挙げられる。

さて、「上下関係」と聞いて皆さんどう思われるだろうか。堅苦しいと思われるかもしれない。嫌厭する人もいるかもしれない。そう考えた人、ちょっと待ってほしい。お気づきの方もいらっしゃるかもしれないが、ここまでの上下関係はすべて「」付きで書かれている。つまり、日吉寄宿舍的上下関係なのである。「上下関係」によって作られる新たな関係性があり、それによって自治が回ったり、人間関係が構築されたりする。

先輩、家族、上司、兄弟、恋人など、今まで体験してきたどの関係性とも違う「上下関係」を是非ご自身の肌で感じてほしい。

理工学部 2 年 T.K(兵庫県出身)

上下関係と聞いて、何を思い浮かべますか？先輩のために雑用をしたり、理不尽なことをされる。安心してください。そんなものではありませんよ。ここでの共同生活を円滑にするためにあるものです。我々が新入生に対して不当に上下関係を行使することはないですし、こわいものと思わずに安心して来てください

理工学部 3 年 N.A(山口県出身)

部屋の間人間関係について

寄宿舎の大きな特徴として 3 人部屋であるということが挙げられます。同部屋のメンバーは 1 年間誰よりも濃い密度で接するといっても過言ではないだろう。

部屋の決めはくじ引きによって行われます。4 月最初の舎生大会、食堂に全舎生が集まり 1 人ずつ箱 に入れられた紙を引いて来ます。これが本当に重要です。このくじ引きによって 1 年間同じ部屋で生活するメンバーが決まるのです。

このようにして同部屋のメンバーが決まるのだが、違う学年の 3 人で同じ部屋ということに心配を感じる人も多いただろう。しかし、そのような心配は全く必要ありません。部屋ではお互いのプライベートを守りながら程よい距離感で接することができます。本当に我慢できないことがあれば匿名の意見箱に書けば、五役の方から注意喚起をしてもらえるので改善を見込めます。

部屋のメンバーで旅行に行ったり、鍋パーティーをしたり、ゲームをしたりなど 3 人部屋でしか味わえないような激アツ体験がたくさんあります。来年はこれを読んでいるあなたと激アツ体験ができることを心待ちにしています。

理工学部 1 年 T.K(石川県出身)

感染対策について

現在、世界中で新型コロナウイルス(COVID-19)が猛威を奮っています。コロナの影響で、今までとは違った生活を余儀なくされたり、思い通りに事が進まなかったりと、様々なことに悩まされこれから先の生活が不安になっている人も多いはずです。

寄宿舎も例外ではありません。以前と同じように活発にイベントが開催できるわけではありません。また、より多くの制限があるのも事実です。

しかしながら、コロナ禍でも開催できるイベントをなんとか考え、舎生全員が絆を深めることのできる機会を作ろうと努めています。コロナ禍だからといって人間関係が希薄になるということではありません。コロナ禍でも深まる人間関係、ましてやコロナ禍だからこそ深まる団結力があります。

対策として、公共スペースを消毒したり、人数を制限しての企画などが挙げられます。もちろん、こうした制限によって感染が拡大するのを防いでいるのはもちろんですが、舎生全員が決められたルールを徹底することで感染拡大防止が実現されています。3人部屋という構造のなか、これまでクラスターは起きていません。

一人暮らしならばコロナによって隔離され、誰とも話すことができずにさらに状態が悪化してしまう場合もあるかもしれません。しかし寄宿舎には、協力してくれる仲間がいて、コロナに苦しめられたとしても支えになってくれたのは確かです。OBの方々にもたくさんの支援をいただきました。

コロナ禍であっても、他では経験できないような貴重な体験、一生続くような強い絆で結ばれた関係を提供できる自信があります。安心して、面接に来ていただければと思います。

理工学部3年 K.S (神奈川出身)

FAQ

Q. SFC への通学は可能ですか？

A. 時間としては1時間半程かかりますが、通学は可能です。また、電車は基本的に空いているので座って通学できます。

慣れてしまえば、そこまで長く感じなくなります。ただ、サークルは日吉のものに入ることをお勧めしたいです。

看護医療学部 2年 S.K (石川県出身)

Q. 寮にどのくらい時間が拘束されるのですか？

A. 寄宿舎は自治寮ですので、運営においては学生部などの「大人」に一任せず、学生が意思決定から実務までを担っています。具体的には学生部との折衝、月に一回程度の委員会の集まりや、舎生全員で寄宿舎の方針を決定する舎生大会、公共スペースの掃除などをする当番制の仕事や、新入生歓迎旅行、キャンプ、成人式などの行事です。しかし、それによって授業に出られない、アルバイトができない、自分の時間が取れないなどのことはありません。むしろ皆様の想像以上に大学生活には暇な時間が無尽蔵に存在し、その時間をどう使うか、という問題と向き合うこととなるでしょう。體育會に入るもの、サークルを掛け持ちするもの、学業に精を出すもの、資格試験に励むもの、寮生との自堕落な生活に殉ずるもの…。さまざまな寮生と同じ釜の飯を食べ、より良い寄宿舎のことを考えることも面白みの一つです。よって、拘束時間は確かに存在しますが、決して大学生活を無碍にするような量ではないこと、また自治活動を拘束時間としてとらえず、様々な寮生と交流し、唯一無二（誇張ではなく）の大学生活にできるという気概を持って入舎していただければと思います。

文学部 2年 K.U(兵庫県出身)

Q. 寮生活とサークルは両立できますか？

A. 寮生活とサークルの両立は可能です。寮には年間を通して様々なイベントがあり、定期的な会議もあります。これらの中には参加必須のものもありますが、体育会やサークルで大事な活動がある場合はそちらを優先することができます。なので、寮の外での活動を楽しみつつ、寮生活も充実させることができます。実際に、多くの寮生が寮生活とサークル活動を両立させています。日吉寄宿舎では、他の塾生が経験できないような経験をすることが出来ます。寮での人間関係は、サークルでの人間関係とはまた違った面白さがあり、違った人間関係を築くことができます。寮生活とサークル活動をうまく両立させ、キャンパスライフを楽しんでください。

商学部 1年 Y.N(栃木県出身)

Q. 寮生活と体育会は両立できますか？

A. 体育会の活動頻度によると思いますが、大体の体育会と寮生活は両立可能だと思います。現に体育会に所属している人はリコタイ含めて5人もあり、それぞれ全く違うスポーツをしています。皆両立できています。なので体育会に入りたいと思ってる人が寮に入るのを躊躇う必要は全くありません！

法学部法律学科2年 T.Y(佐賀県出身)

Q. 寄宿舍が日吉にあるメリットはなんですか？

A. 最大のメリットは、日吉キャンパスから徒歩10分という立地です。もし寝坊して8時50分に起きたとしても、9時からの1限に間に合います。基本的に遅刻する事がなくなるので大学生活をスムーズに送る事ができます。日吉駅までも徒歩10分圏内なので、日用品の買い物にもとても便利です。また、矢上キャンパスまで徒歩20分、三田キャンパスへは都営三田線に乗れば乗り換えなしで行くことができます。体育会に所属する人にとっては、下田グラウンドや蝮谷の練習場へ自転車や徒歩で行くことができるので、とても快適です。私生活で言えば、日吉駅から渋谷へ20分、横浜へ15分でアクセスでき、遊びや買い物にも便利です。大学生にとって、移動時間が短縮できることは非常に大きなメリットだと思います！

そして、寄宿舍は日吉台という丘の上にあるため、毎晩最高の夜景を望めますよ！

法学部政治学科1年 D.K(埼玉県出身)

Q. 大学院への進学を考えているのですが、寄宿舍は4年間しか住めないのですか？

A. 寄宿舍は、学部生の4年間しか住むことができません。したがって、大学院への進学を考えている方でも、4年間で寄宿舍を出なければなりません。しかし、大学院への進学を考える上でも、上級生に様々な相談をできるのが、寄宿舍の強みです。学部生時代だけでも、寄宿舍での集団生活を通して、充実した時間を過ごしましょう！

法学部法律学科3年 H.S(東京都出身)

Q. 寮ではバイクや車に乗れますか？

A. はい！もちろん乗ることは可能です。しかし、自動車に関しては一時的な乗り入れのみが許可されています。車の駐車スペースはないので、自分の車を置くことはできません。そのため、車が必要な時は近くのレンタカー屋さんへ借りに行くことが多いです。お店には団体が登録してあるため、寮生なら安い値段で借りることができます。バイクは敷地内の駐輪場に無料でとめることができます。さらに、排気量などの制限はないので、リッター越えのハーレーや、BOSSHOSS のモンスターマシンも置くことができます。バイク好きには最高の環境ですね！ 日吉は起伏が激しいので、原付やバイクを持っておくと移動に便利ですよ。

理工学部 3 年 H.Y(千葉県出身)

Q. 寮では酒宴が多いと聞きます。無理にお酒を飲まされることはありますか？

A. 当たり前のことですが、未成年の飲酒は禁止です。未成年の人が無理に飲まされることはありません。加えて入舎前にアルコールパッチテストを行い、お酒が苦手な人を把握しております。ご安心ください。

誕生日会や寄宿舍の行事でお酒を飲む機会は確かにありますが、お酒が苦手な人や飲みたくない人に対して過度に飲ませようとすることはありません。飲みたくないという意思をはっきりと伝えれば理解してくれます。

とはいえ、誕生日会やその他の行事は舎生同士の交流の場でもあるため、ある程度参加したほうがお互いに仲良くなれます。重要なのはお酒をたくさん飲むことではなく、そういった場での周りの対応を学ぶことです。

重ねて言いますが、無理に飲む必要もないですし、飲まされることもありません。互いに気分を害することのない、楽しい健全な飲酒を心がけましょう。

理工学部 2 年 M.H(岐阜県出身)

Q. いまいち寮というもののイメージが浮かばないのですが、寮を一言で表すとなんでしょうか？

A. もはや一種の「大学」と言ってもいいでしょう。友人、学び、遊び、さながら大学のよ
うな経験がこの寮で経験できます。(ただし恋愛を除く)

「慶應義塾男子大学」へようこそ。

経済学部 3 年 K.H(神奈川県出身)

最後に

この冊子は、新入生の皆様に日吉寄宿舍での生活を伝えるために、現役舎生全員が執筆し作成したものです。寄宿舍の雰囲気、舎生の生活の様子を想像し、魅力的に思ってもらえたならこれほど嬉しいことはありません。

今、この冊子を読んでいる皆様の中には、金銭面など、家庭の事情から日吉寄宿舍への入舎を検討されている方が多いのではないのでしょうか。また、この冊子を読んで、寄宿舍に独特の人間関係を知り、少し驚いた方もいると思います。私自身3年前のこの時期に、ただ安い寮であることに魅力を感じ日吉寄宿舍での入舎を志願した際、真っ先に当時の入舎案内を探して熟読し、濃密な人間関係のあり方を知り、多くの衝撃を受けました。そして、その衝撃をはるかに超える刺激と充実感を、日吉寄宿舍に入舎してから今に至るまで毎日実感しています。実は、そこに日吉寄宿舍の本当の「魅力」があります。これは到底言葉で言い表せませんが、育ってきた環境も考え方も違う個性あふれる舎生達と、ご飯を食べたり、お風呂に入ったり、委員会で議論を交わしたり、イベントで盛り上がったり、時には些細なことで喧嘩をしたり、、、そんな何気ない、充実した毎日を過ごす中で、舎生は私にとって、友達や先輩後輩ではなく、家族でもない、一生のかけがえのない存在になりました。私はこれが日吉寄宿舍の本当の「魅力」であり、日吉寄宿舍へ入ることによって得られる「最大の財産」だと思っています。

本冊子を読んで寄宿舍に入りたいと思ってくれた方、そうでなかった方、すべての方のこれからの大学生活が実りあるものになりますようお願いしております。

理工学部3年 T.K (兵庫県出身)

日吉寄宿舍案内図（できるだけ面接日前に下見してください）

